

当院をご利用される皆さまへ、新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

引き続き、多大なご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。各お知らせの詳細は、右のQRコードよりご確認ください。

面会制限、  
夜間施設について



発熱症状で  
受診される方へ  
[来院前にご確認ください]



松波総合病院柔道部「練習会」と「ドウジョウあそび」のご案内

練習会のご案内

病院内柔道場にて、下記の日程で練習会を行っています。経験者はもちろん、柔道未経験の方でも基本からお教えますので、ご家族・ご友人など誘いあわせのうえ、柔道場へお越しください。見学だけでも大歓迎です。

日時 毎週月曜日・木曜日(祝日は休止です)  
17時30分～19時00分 場所 文武両道館

連絡先 058-388-0111(内線 51668)  
松波総合病院 柔道部監督 松井 ※参加される方は、事前にご連絡ください。

ドウジョウあそびのご案内

松波総合病院柔道部では「武道」×「医療」×「スポーツ」を柔道場で楽しく身体を動かし、子どもたちの身体能力の発達を促し、大人も子どももワクワクできる「ドウジョウあそび」を開催しています。詳細、お申し込みは右記のQRコードより読み込んでください。



柔道部からのお知らせ

8月26日(土)、27日(日)に開催された「第53回全日本実業柔道個人選手権大会」で、当院の柔道部が出場し、業務部の杉浦冬唯選手が男子66kg級で第3位の成績を収めました。この大会結果により以下の大会の出場権を獲得しました。引き続き、皆さまのご声援のほど、よろしくお願い申し上げます。



【次回大会のお知らせ】

- ・11月開催 講道館杯全日本柔道体重別選手権大会(オリンピック第一次選考会)
- ・2月開催 全日本シニア柔道体重別選手権大会

がん患者・家族のつどい再開します

日時 第4木曜日 13時00分～15時00分 場所 松波総合病院 南館1階 多目的室 お問合せ 058-388-0111(代) がん薬物療法看護認定看護師 野々垣まで

中学生職業体験学習が行われました

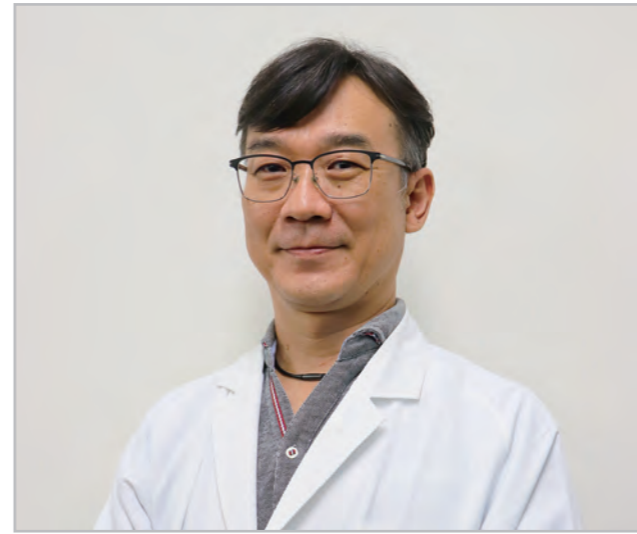
8月24日(木)～29日(火)の4日間にわたり羽島市立中央中学校の職業体験を実施しました。体験したのは臨床工学技士、介護福祉士、臨床検査技師、リハビリテーション技師、薬剤師で希望する職種に分かれ体験を行いました。実際に患者さんに使用する機械などに触れたり、動かしているところを見学したりと普段見れない現場に皆さん興味津々の様子でした。



※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。



9月1日より新しい医師が入職しました



泌尿器科 部長 兼 血液浄化センター長 兼  
人工透析センター長

石田 健一郎 (いしだ けんいちろう)

【出身大学】  
岐阜大学(2001年卒業)

【専門分野】  
▶ロボット支援手術 ▶腹腔鏡手術  
▶内視鏡手術 ▶前立腺疾患

【資格】  
・日本泌尿器科学会：泌尿器科専門医、指導医  
・日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会：泌尿器腹腔鏡技術認定医  
・日本泌尿器科学会・日本泌尿器内視鏡学会：泌尿器ロボット支援手術プロクター認定医師  
・日本がん治療認定医機構：がん治療認定医  
・ICD制度協議会：認定ICD  
・医学博士

【所属学会】  
・日本泌尿器科学会  
・日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会  
・日本化学療法学会  
・日本抗加齢医学会  
・日本ロボット外科学会

はじめまして！令和5年9月よりお世話になることになりました、泌尿器科の石田です。赴任前の12年間は岐阜県総合医療センターで、前立腺がんに対するダヴィンチを使用した腹腔鏡手術や、尿管結石、前立腺肥大症に対する内視鏡手術など、幅広く経験させていただきました。この経験を活かし、当科、他科の先生やスタッフに御協力いただき、当院の成長と発展に貢献できるよう努力していきます。また、血液透析に関する職務も拝命いたしましたので、どちらも頑張りたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

今後も職員一同協力し、質の高い医療・福祉を提供してまいります。  
どうぞよろしくお願いいたします。

次ページ「免疫・内分泌疾患センター」特集

〒501-6062  
岐阜県羽島郡笠松町田代185-1  
TEL:058-388-0111(代)  
FAX:058-388-4711  
https://www.matsunami-hsp.or.jp



駐車場のご案内

立体駐車場への入庫は、左折のみとさせていただきます。右折入庫は渋滞の原因となりますので、右折入庫をなさらないよう、ご理解とご協力をお願いいたします。



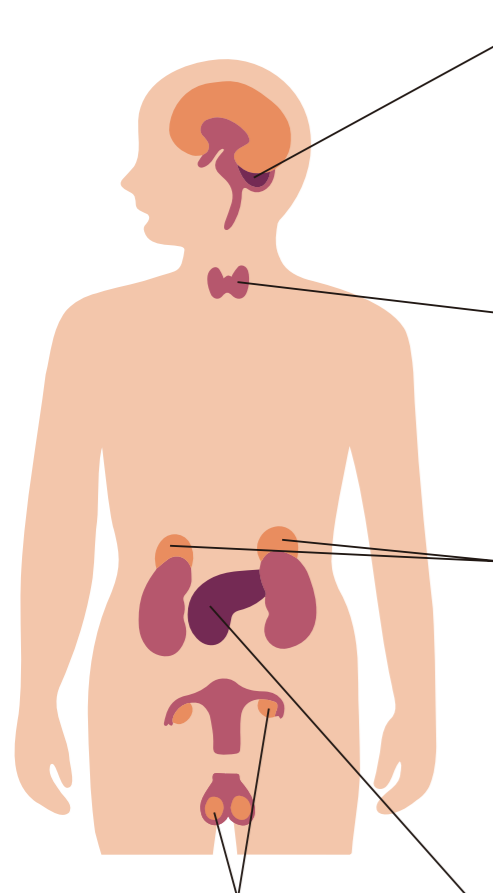
松波総合病院 広報課  
YouTube  
チャンネル登録をお願いします！

呼吸器センター紹介映像公開中です！  
肺がん治療  
呼吸器センター紹介

## 免疫・内分泌疾患センターについて

体内には多くのホルモンが存在し、体調を保つために働いています。ホルモンバランスが乱れることで起こる「内分泌疾患」と、当院の「免疫・内分泌疾患センター」についてご紹介します。

### 内分泌疾患に関わる部位と症状



**下垂体**

- ・下垂体腫瘍 : 視野・視力障害
- ・先端巨大症 : 顔貌変化、舌・手・足の増大、高血糖、多汗
- ・プロラクチノーマ : 不妊症、月経異常・乳汁漏出
- ・クッシング病 : 体重増加、高血糖、高血圧、月経異常

**甲状腺・副甲状腺**

- ・バセドウ病 : 動悸、多汗、体重減少、イライラ
- ・橋本病 : むくみ、寒がり、体重増加
- ・甲状腺腫瘍 : 甲状腺腫・甲状腺結節

**副腎 (副腎皮質・副腎髄質)**

- ・クッシング症候群 : 体重増加、高血糖、高血圧、月経異常
- ・原発性アルドステロン症 : 高血圧
- ・褐色細胞腫 : 動悸、多汗、高血糖、高血圧、体重減少
- ・副腎皮質機能低下症 : 倦怠感、体重減少、低血圧、低血糖
- ・副腎偶発腫瘍

**膵臓**

- ・ガストリノーマ : くり返す胃・十二指腸潰瘍
- ・インスリノーマ : 低血糖
- ・グルカゴノーマ : 高血糖

**卵巣・精巣**

- ・性腺機能低下症 : 性機能低下



### 担当医師プロフィール



副院長  
免疫・内分泌疾患センター長

諏訪 哲也  
(すわ てつや)

#### 【専門分野】

- ・内科一般
- ・内分泌
- ・糖尿病
- ・高血圧

#### 【認定資格】

- ・日本内科学会 : 認定内科医、総合内科専門医、指導医
- ・日本内分泌学会 : 内分泌代謝科(内科)専門医、指導医
- ・日本糖尿病学会 : 専門医
- ・日本内分泌学会・日本糖尿病学会 : 内分泌代謝・糖尿病内科領域研修指導医

#### 【所属学会】

- ・日本内科学会
- ・日本内分泌学会
- ・日本糖尿病学会
- ・日本炎症・再生医学会
- ・日本高血圧学会
- ・日本老年医学会
- ・日本臨床免疫学会
- ・日本ステロイドホルモン学会
- ・米国内分泌学会

## 内分泌疾患とは

体の中にはホルモンと呼ばれる化学物質が多く存在します。ホルモンは内分泌臓器や組織でつくられたのち、血流に乗って全身の細胞に運ばれて生命機能を維持するという重要なはたらきがあります。内分泌臓器の障害により、ホルモンが必要な時に、適切な量の分泌が行われないとさまざまな症状を引き起こします。このようなホルモン異常によって起こる病気を総称して「内分泌疾患」と呼びます。

内分泌疾患は、全身のさまざまな部位・症状に影響します。中でも特に代表的なものとして以下のようなものがあります。

(参考:日本内分泌学会HP)

### 甲状腺疾患

#### ■ バセドウ病(甲状腺機能亢進症)

甲状腺ホルモンが過剰分泌される状態、「甲状腺機能亢進症」の代表的な病気です。症状は、動悸、汗をたくさんかく、よく食べるのに体重が減少する、イライラや落ち着きのなさなどの症状がみられます。また、甲状腺が全体的に大きく腫れてきます。目が突出したり、物が二重に見えるようになることがあります。

#### ■ 橋本病(慢性甲状腺炎)

免疫異常による甲状腺の炎症であり、甲状腺ホルモンが不足した状態、「甲状腺機能低下症」を引き起こします。顔や手足のむくみ、寒がり、体重増加などの症状がみられます。バセドウ病とは異なり甲状腺は硬く腫れることがあります。

### 副腎疾患

#### ■ 原発性アルドステロン症

副腎からのアルドステロンの過剰分泌が原因で引き起こされる病気です。高血圧患者の5~10%程度が該当すると考えられます。アルドステロン自体が直接的に脳出血、脳梗塞、心筋梗塞、心肥大、不整脈、腎不全等のリスクを高めるため、通常の高血圧治療のみでは不十分です。

#### ■ クッシング症候群(副腎皮質機能亢進症)

副腎皮質からのコルチゾールの過剰分泌が原因で引き起こされる病気です。症状は、体重増加、顔が丸くなるなどの身体の変化や高血糖・高血圧、月経不順などがあります。一方、コルチゾールが過剰でも、特徴的な身体徴候がみられないものを「サブクリニカルクッシング症候群」と言います。

## 免疫・内分泌疾患センター

## 診察・検査・治療体制

内分泌疾患の診察には、詳細な病歴聴取や疾患の特徴的な身体所見を見落とさないなどの高い専門性が要求されます。当院には経験豊富な内分泌代謝科専門医が10名所属し、日々研鑽を重ねながら診療レベルの向上に努めています。

近年、健康診断への超音波検査導入により、甲状腺腫瘍の発見が多くなっています。速やかに細胞診を行うことにより、早期の診断、治療方針の決定が可能です。また、各種放射線治療の施設基準も満たしており、放射線治療専門医が対応します。甲状腺機能亢進症・低下症の治療においては、院内での甲状腺ホルモン迅速測定により、来院当日に治療薬の調整を行います。

画像検査で偶然見つかる「副腎偶発腫」も増加傾向にあります。必要な検査をできる限り外来で行い、患者さんの負担軽減を心がけています。二次性高血圧の代表疾患である「原発性アルドステロン症」の診断に必要な検査は、高難度のカテーテル検査であるため、限られた専門施設での施行が推奨されています。当院は技術に習熟した放射線科医が専属で担当することで、国内有数の高い成功率を達成しています。

月経異常、不妊の患者さんには、下垂体腫瘍の方が多く含まれます。産婦人科の協力のもと、早期発見に努めています。特に機能性の下垂体微小腺腫は、完全摘出に極めて高い能力が求められますが、当院では専門の脳神経外科医が手術にて対応しています。

内分泌疾患の診断から治療までを同一施設内で一貫して行うには、複数診療科の連携、必要とされるインフラの整備、一部の遺伝性疾患へ対応可能な体制などを調えることが要求され、当院はその水準を満たしております。

